

ウオダス 漁海況速報 No.1462

発行日 平成 18 年 1 月 26 日 <http://www.applenet.jp/aosui/>
 発行 青森県水産総合研究センター TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778
 住所 〒038-2731 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字赤石字大和田39-5

2月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	⑯	17	18
19	20	⑳	22	23	24	25
26	27	28				

○標識キアンコウの再捕報告
 ○津軽海峡の表面水温は低め
 (漁業情報サービスセンター海況速報)

小 泊 (1月21~25日)
 (対象魚種の漁獲無し)

三 厩 (1月21~25日)
 ヤリイカ 定置網 1隻 5kg

佐 井 (1月21~25日)
 (取りまとめ中)

下 前 (12月1日~1月25日)
 (取りまとめ中)

平 館 (1月21~25日)
 (取りまとめ中)

大 畑 (1月1~25日)
 (取りまとめ中)

鰺ヶ沢 (1月21~25日)

ヤリイカ	底建網	39隻	15,885kg
スルメイカ	底建網	2隻	21kg
マダラ	底建網	10隻	232kg
(266 kg)	底曳網	1隻	34kg
ウスマバル	底建網	6隻	5kg
タイ	底建網	1隻	3kg
サクラマス	底建網	3隻	4kg



尻 労 (1月21~25日)
 (取りまとめ中)

白 糠 (1月16~25日)
 (取りまとめ中)

八 戸 (1月21~25日)

スルメイカ	一本釣	1隻	45kg
サケ他	定置網	10隻	6,920kg
(1月26~31日)			
サケ他	定置網	7隻	3,466kg

大 戸 瀬 (1月21~25日)

ヤリイカ	定置網	7隻	221kg
(23,348kg)	底建網	140隻	23,126kg
タイ	底建網	20隻	11kg
サクラマス	定置網	11隻	1,135kg
(1,503kg)	底建網	18隻	368kg
ブリ	底建網	1隻	2kg
タラ	定置網	3隻	39kg
(203 kg)	底建網	31隻	164kg
サケ	定置網	2隻	32kg
サバ	定置網	1隻	1kg
(25 kg)	底建網	2隻	24kg

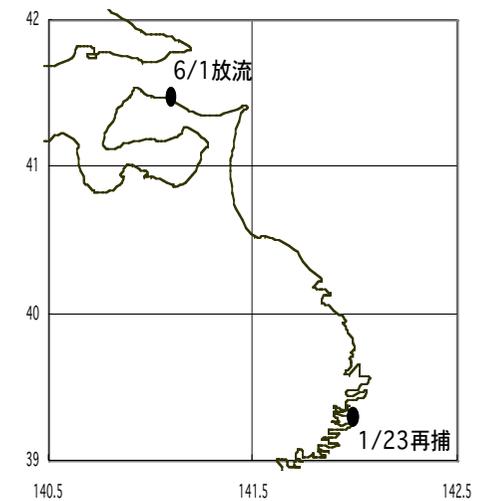
深 浦 (1月16~20日)

ヤリイカ	定置網	3隻	20kg
(199kg)	底建網	8隻	179kg
スルメイカ	定置網	3隻	135kg
(314kg)	底建網	8隻	179kg
マダラ	底曳網	4隻	484kg
(751kg)	刺網	4隻	267kg
サクラマス	定置網	3隻	42kg

◎トピックス

標識放流したキアンコウが岩手県沿岸で再捕されました。

平成17年6月1日に風間浦村蛇浦沖水深30m地点で放流されたキアンコウ(全長46cm)が平成18年1月23日に、岩手県山田町の定置網で再捕されました。昨年来、合計5個体が再捕されていますが、他県沖で再捕されたのは初めてです。再捕時の大きさは体重4.1kg、価格は約1,400円/kgということで、放流時の体重から3倍程度に増重したと推定され、また高価格で売られています。東北海域のキアンコウの移動、成長に関するデータは少ないことから貴重なデータです。



主要魚種の動き

○ヤリイカ (全漁法・1月21~25日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(8月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	15,885kg	2561%	40,319kg	41%
大戸瀬	23,348kg	454%	54,921kg	75%
深浦	27kg	14%	1,470kg	47%
沢辺	135kg	-	234kg	31%
(津軽海峡)				
三厩	5kg	35%	399kg	58%

○マダラ (全漁法・1月21~25日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(11月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	266kg	2418%	26,892kg	644%
大戸瀬	203kg	334%	529kg	37%
深浦	708kg	94%	57,847kg	256%
沢辺	1,717kg	56%	30,884kg	136%

○サクラマス (全漁法・1月21~25日)

(日本海)	今回	前回比	漁期累計(12月~)	昨年同期比
鰺ヶ沢	4kg	-	44kg	-
大戸瀬	1,503kg	132%	3,605kg	117%

沿岸各地の水温

日本海 6 ~ 7 °C台
陸奥湾 3 ~ 5 °C台

今期は全ての地域で降温し、平均前回差は-1.3度でした。昨年と比べると日本海側で-2.7度、津軽海峡で-3.0度、陸奥湾で-1.8度、太平洋側で-3.0度となっています。平均昨年差は-2.5度です。

平年と比べると日本海が平年並み、津軽海峡、太平洋側がかなり低め、陸奥湾がはなはだ低めとなり、平均平年差は-1.8度でした。

(1月21日~25日)
津軽海峡 6 ~ 7 °C台
太平洋 4 ~ 6 °C台

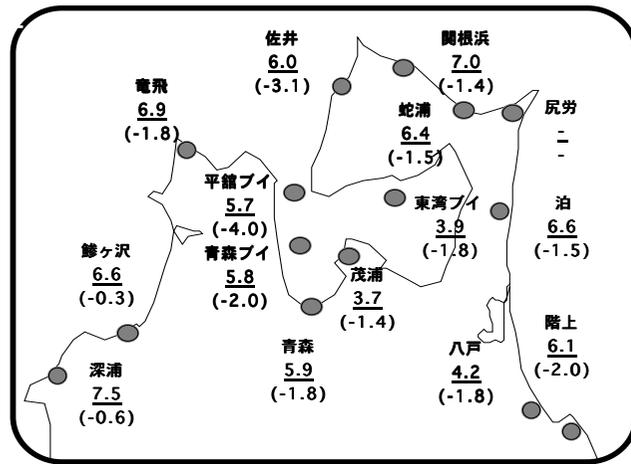


図 定地水温 (1月21~25日) 平均値 (平年差) ブイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	7.5	-0.6	-2.0	-0.1
鯨ヶ沢	6.6	-0.3	-3.4	-0.9
竜飛	6.9	-1.8	-2.6	-0.8
佐井	6.0	-3.1	-4.0	-1.6
青森	5.9	-1.8	-1.0	-1.1
蛇浦	6.4	-1.5	-3.3	-0.6
関根浜	7.0	-1.4	-2.1	-0.9
尻屋	-	-	-	-
泊	6.6	-1.5	-3.2	-0.9
八戸	4.2	-1.8	-2.2	-4.2
階上	6.1	-2.0	-3.6	-1.1
茂浦	3.7	-1.4	-1.0	-1.3
平館ブイ	5.7	-4.0	-4.9	-2.2
青森ブイ	5.8	-2.0	-0.8	-1.2
東湾ブイ	3.9	-1.8	-1.4	-0.9
平均	5.9	-1.8	-2.5	-1.3

太平洋の海況 (1月18~19日)

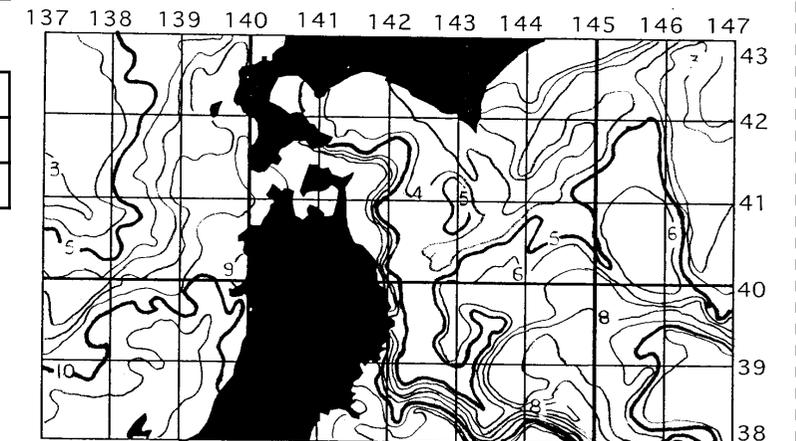
概況; 沿岸水温は8°C台

- 太平洋沿岸域の表面水温 8°C台で、前回と変わっていません。これは昨年同期と比べて1度ほど低い水温です。
- 津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 7°C等温線でみると東経142度付近までで、張り出しは前回より強くなっています。
- 親潮系冷水の南下 7°C等温線でみると北緯38度20分付近までで、張り出しは前回と変わっていません。

日本海の海況 (1月18~19日)

概況; 沿岸水温は9°C台。

- 日本海沿岸域の表面水温 9°C台で、前回よりわずかに低くなっています。昨年同期と比較すると1度ほど低い水温となっています。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 第83号 1月23日

県内の状況(1月4~16日)

海域	入網状況
津軽海峡 1/5~16	小型定置網・底建網とも大量入網
太平洋 1/4~16	小型定置網が最多で500個体/2ヶ統 刺網合計が最多で317個体

◎試験船情報

- 試験船開運丸は26日まで、太平洋のアカイカ南下経路調査を行いました。22日以降の調査結果は右の表のとおりです。

開運丸あかいか漁場調査 (太平洋) (アカイカ)

操業月日	操業位置	漁獲尾数 (*)	魚体(cm)**	表面水温 (°C)
1月24日	37-28、142-10 (福島沖)	220 (1.7)	30~45 (37)	12.3
1月25日	37-38、142-07 (福島沖)	279 (4.2)	27~44 (38)	12.6

* 釣糸1本1時間あたりの漁獲尾数 **主となる大きさ

福島県塩屋崎沖ではCPUE (釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数) 1.7~4.2尾となっています。

- 試験船東奥丸は来週、日本海において沿岸定線観測を行う予定です。
- 試験船青鵬丸は来週、日本海において魚礁調査を行う予定です。

◎津軽海峡の海況

津軽海峡東部の渡島半島側の表面水温が前回ウオダスに掲載した(社)漁業情報サービスセンターの北部太平洋海況速報第82号によると1月中旬に5°C台となっています。昨年同期は9°C台で、今年は低めの傾向となっています。過去には、昭和59年に異常冷水が本州側に接岸し、暖水性魚種のタイの浮上、アワビ、ウニの斃死を招きました。今後も低水温域の分布、津軽海峡東部の海況の変化に注意が必要です。当センターでは、2月に海峡から海峡東側で冷水調査を予定しています。

◎大型クラゲ情報

1月23日現在の県内の大型クラゲの確認状況は右表のとおりです。他県の状況は、(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所のホームページ (<http://www.jsnf.affrc.go.jp>) をご覧下さい。